

ANREALAGE+TASKO inc.+シバタテクノテキスが ヨコハマ・パラトリエンナーレ2014にて、聴覚で感じる「聴く服」を発表。

「聴く服」

服は見るもの。

そういった先入観が、私たちの能力や可能性を
制限しているのかもしれない。

目に映るものだけがファッションではない。

目をとじ、耳をすませば、
ファッションの新しい可能性が聞こえてきます。

写真には写らないファッションをここに。



ヨコハマ・パラトリエンナーレは、「障害者」と「多様な分野のプロフェッショナル」の協働から生まれる現代アートの国際展。

人々の出会いと協働の機会を創出し、誰もが居場所と役割を実感する地域社会の実現を目指します。

今回のアンリアルエイジの展示では、TASKO inc.とシバタテクノテキスと協業し、視覚だけに頼る「見る服」ではなく、聴覚で感じる「聴く服」を提案します。

展示してある巨大なシャネルジャケットは、音を奏でる特殊な糸で織られており、服に耳をすますと、布からメロディーや声が聞こえてきます。

シャネルの創立者、ココ・シャネル(本名:ガブリエル・シャネル)が、1905年にお針子仕事の傍ら、歌手を志してキャバレーで働いていた頃、「Qui qu'a vu Coco dans le Trocadero (トロカデロでココを見たのはだれ)」というシャンソンを舞台で歌っていたことが、ココという愛称の由来とされている。本展示では、シャネルジャケットが、ターンをしたり、左右に揺れたり、しながら、「Qui qu'a vu Cocodans le Trocadero」を唄い続けます。

目をとじ、耳をすませば、きっとファッションの新しい可能性が聴こえてくるはずです。

ANREALAGE 2014 展示製作協力:TASKO inc./シバタテクノテキス株式会社

TASKO inc.

アートユニット「明和電機」のスタッフワークを経て舞台制作・機械製作・デザイン・マネジメントを軸に2012年に設立。企画から生産、興行まで一貫して行われ、中でも設計制作事業部における独自のノウハウをもとに製作される機械は国内外で評価が高い。デジタルテクノロジー全盛の現代において、新しい機械のあり方を提唱し、他業種とのコラボレーションも積極的に進めている。

ANREALAGE

デザイナー 森永邦彦。1980年東京都生まれ、同地在住。2003年からファッションブランドANREALAGEを立ち上げ、活動開始。ブランド名はA REAL (日常)、UNREAL (非日常)、AGE (時代)、を組み合わせた造語。「神は細部に宿る」という信念のもとに作られた色鮮やかで細かいパッチワークや、人間の身体にとらわれない独創的なかたちの洋服を特徴とする。2005年、ニューヨークの新人デザイナーコンテスト「GEN ART 2005」でアバンギャルド大賞を受賞。2006年より東京コレクションに参加。2011年、第29回毎日ファッション大賞新人賞・賞生堂奨励賞受賞。主な展覧会に「アンリアルエイジ展 A REAL UN REAL AGE」(2012年、バルコミュージアム・東京)、フィロソフィカル・ファッション2:ACOLOR UN COLOR」(2013年、金沢21世紀美術館・石川)。

ヨコハマ・パラトリエンナーレ2014 first contact -はじめてに出会える場所-

開催日時:2014年8月1日(金)～11月3日(月・祝)

※コア期間8月1日(金)～9月7日(日)

会場:象の鼻テラス

主催:横浜ランデブープロジェクト実行委員会、特定非営利活動法人スローレーベル

共催:横浜市、2014年東アジア文化都市実行委員会

補助:文化庁 後援:神奈川県、プリティッシュ・カウンシル 協賛:SHI/EIDO

特別協力:神奈川県遊技場協同組合・神奈川県福祉事業協会 認定:公益社団法人企業メセナ協議会

協力:アミューズミュージアム、アンスティチュ・フランセ横浜、株式会社伊藤園、ULTRASONIC、カラークネティクス・ジャパン株式会社、株式会社協進印刷、JICA横浜、ストロークコミュニケーション株式会社、代官山スタジオ、日本エヴィクサー株式会社、横浜市民ギャラリーあざみ野、社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団、株式会社ライゾマティクス、株式会社ルシアン

2014年開催テーマ:『first contact -はじめてに出会える場所-』

ヨコハマ・パラトリエンナーレの開催第1回目として「ファースト・コンタクト」をテーマに展示やパフォーマンス、ものづくりなど多彩なプロジェクトを展開します。

3年ごとの発展的開催を見据え、初回開催後も継続して各プロジェクトに取り組みます。

参加アーティスト:ANREALAGE、井上唯、崎野真祐美・工房いなば・池田富士美×岩崎貴宏、ミハイル・カリキス、Namiko Kitaura、SOUL FAMILY×真鍋大度+石橋素+堤修一+照岡正樹、ダイアログ・イン・ザ・ダーク×三角みつ紀、SLOW LABEL徳島×イザベル・ボワノ、SLOW LABEL横浜×皆川明、目【め】、ベドロ・マシャド(カンドウコ・ダンス・カンパニー)、クリシー喜陽(キヨウ)、高津会、森田かずよ、カトリヌ・マジ、金井ケイスケ、くるくるシルク、武田久美子、坂東美佳

詳しい情報はヨコハマ・パラトリエンナーレ2014公式ウェブサイトをご覧ください。 公式ウェブサイト <http://www.paratriennale.net>

